

筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

「第15回講演と対話のつどい」

安倍内閣のもとで、日本は何処へ向かおうとするのか？

原発事故も収束しない段階で再稼働を表明し、消費税増税・賃金抑制と物価上昇・TPP参加など、国の経営と国民生活に真っ向から反する政策を進めています。昨年末の衆院選挙では争点を外した憲法問題を、今や前面に掲げ、復古調憲法への回帰ともいえる「憲法改正」を目指しています。これは国民主権と国の在り方に、そして国際関係にも大きな影響を及ぼす深刻な問題です。安倍内閣が日本を何れの方に向かわせようとするのか、この危険な状況を語り合います。

[日時] 2013年10月27日(日) 13:30~16:30

[会場] つくば市大穂交流センター (入場無料)

つくば市筑穂1-10-4 / 029-864-3111

講演

「安倍政権下の憲法の危機 ~集団的自衛権論を中心に~」

浦田一郎 氏 (明治大学法学部教授 憲法学)

安倍政権は集団的自衛権の行使を憲法上可能とするために、政府の憲法解釈を多様な方法を動員して変更しようとしています。しかし、オバマ政権や与党公明党との間に矛盾があり、国民の自覚と運動が大きな意味をもちうると考えます。

話題提供

児玉正文 氏 (前全農林筑波地本書記長)

樋田幸夫 氏 (憲法9条の会つくば)

和気正芳 氏 (KEK九条の会)

全体討論

どなたも自由に参加出来ます。
活発な討論をお願いします。



連絡先：安田公三 (TEL, FAX 029-847-3884)

<http://peace.arrow.jp/tsc/>

主催：筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会